

# 新中期計画 説明会



**ダイセル化学工業株式会社**  
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

**2011年2月23日**

# 目次

- ◆ 2007～2009年度 中期計画の振り返り P3～P6
- ◆ 長期ビジョン Grand Vision 2020 P7～P10
- ◆ 新中期計画 P11～P42
- ◆ 社名変更について P43



# 2007～2009年度 中期計画の 振り返り

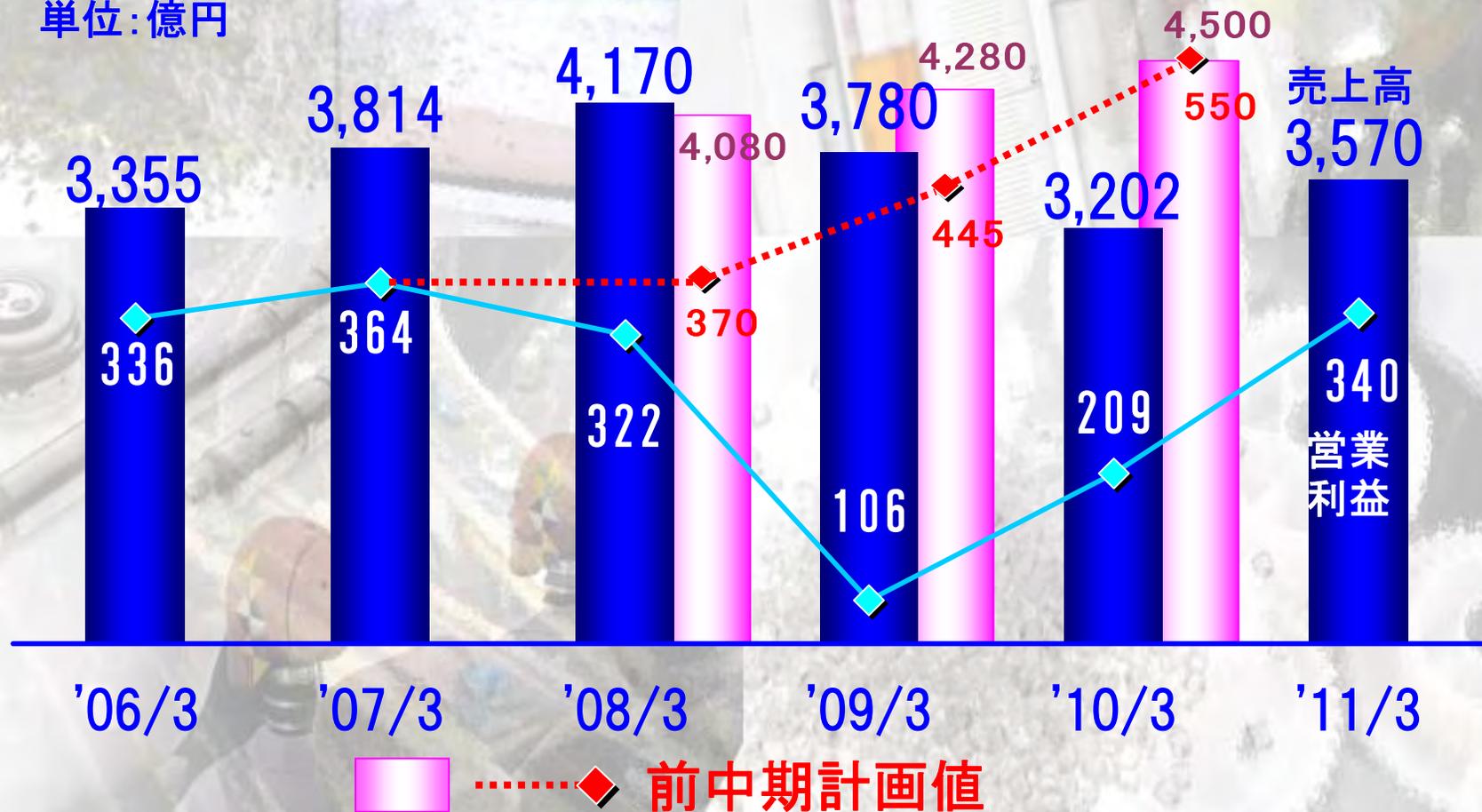
# 当期業績見通し

(単位:億円)

	'10/3('09年度) 実績	'11/3 (2010年度)		
		上期	3Q(4~12月)	通期予想
売上高	3,202	1,809	2,685	3,570
営業利益	209	209	282	340
経常利益	200	198	269	320
純利益	111	77	116	175

# 売上高・営業利益推移

単位：億円



# 2007～2009年度 中期計画の振り返り

## セルロース

TAC:リーマンショックの影響などによる大竹新設備の稼働遅れ  
(’10年11月再稼働)

アセテート・トウ:大竹工場新設備稼働、網干工場増強  
中国JVアセテート・トウ増強、酢酸セルロースJV稼働

## 有機合成

化学品:中国無水酢酸稼働、エタノール法酢酸エチル(化石原料からの転換)  
機能化学品:電子情報材料分野への素材展開  
半導体レジスト材料事業拡大計画の未達  
CPI:中国、インドに拠点設置・拡充

## 合成樹脂

エンプラ事業:アジアの拠点拡充、LCP増強、COC事業拡大足踏み  
コンパウンド事業:中国販売拠点拡充、黒字化体質定着  
大日本プラスチック譲渡、三国プラスチックの事業譲渡

## 火工品

タイ(DSTT)イニシエータ増強  
韓国にインフレータ販売拠点設置(DSSK)

## コーポレート

次世代の柱となる新事業育成の確実な加速が課題  
大阪本社移転、堺工場の閉鎖と事業移転



# 長期ビジョン Grand Vision 2020

# 世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業をめざします

The Best Solution for You  
最良のソリューションを創造し、提供する

社会やお客様のニーズ

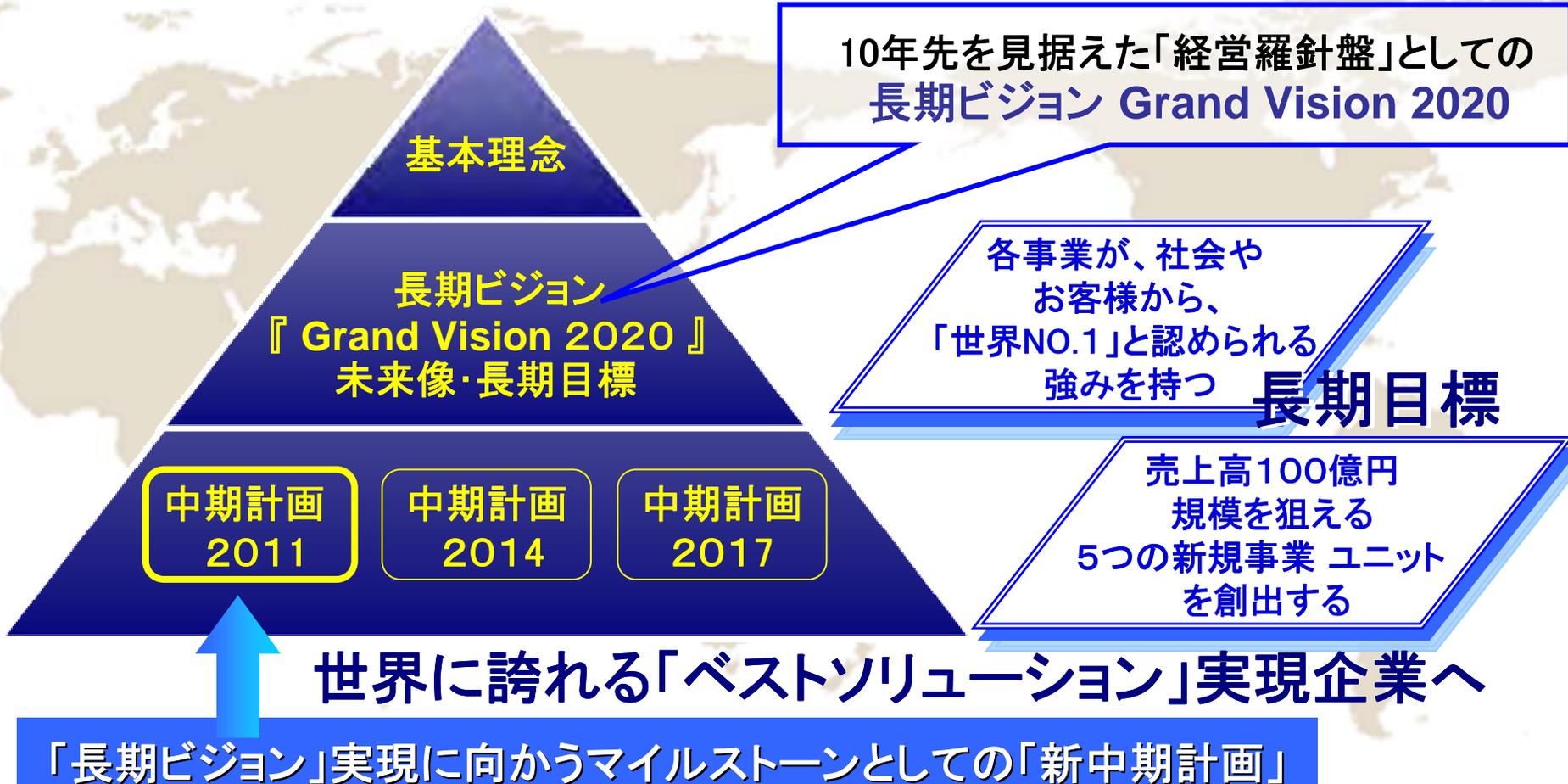
世界に誇れる「モノづくりの仕組み」を構築

パートナーとの  
強固な信頼の絆

ユニークで  
多彩な技術

先進の  
生産方式

# 新中期計画の位置づけ



# 3D Step-up Plan

## 『ベストソリューション』実現企業へ

M&Aも視野に

3D-I 中期計画  
(2011～2013年)

3D-II 中期計画  
(2014～2016年)

3D-III 中期計画  
(2017～2019年)

*Design the Future*  
設計・挑戦

*Develop New Values*  
展開・飛躍

*Deliver the Best Solution*  
実現・提供

- コア事業のさらなる成長
- 新規事業創出
- グローバル展開

- ★ 「世界NO.1」と認められる強みを持つ
- ★ 新規100億円規模×5ユニット 創出

# 3D Step-up Plan 第 I 期

## 3D - I 中期計画

(2011～2013年)

***Design the Future***

***Develop New Values***

***Deliver the Best Solution***

# 当社グループを取り巻く事業環境

地球規模での  
環境・エネルギー問題

CSRへの関心の  
高まり

世界経済の構造変化  
中国・インドを中心に  
アジアが牽引

円高、原燃料価格の上昇、グローバルでの価格競争激化

# 3D - I 中期計画 目標

## Design the Future 未来像の設計と挑戦

① 売上高 4,200億円  
営業利益 450億円

② 新規事業創出の加速  
長期目標：事業規模100億円×5ユニット創出

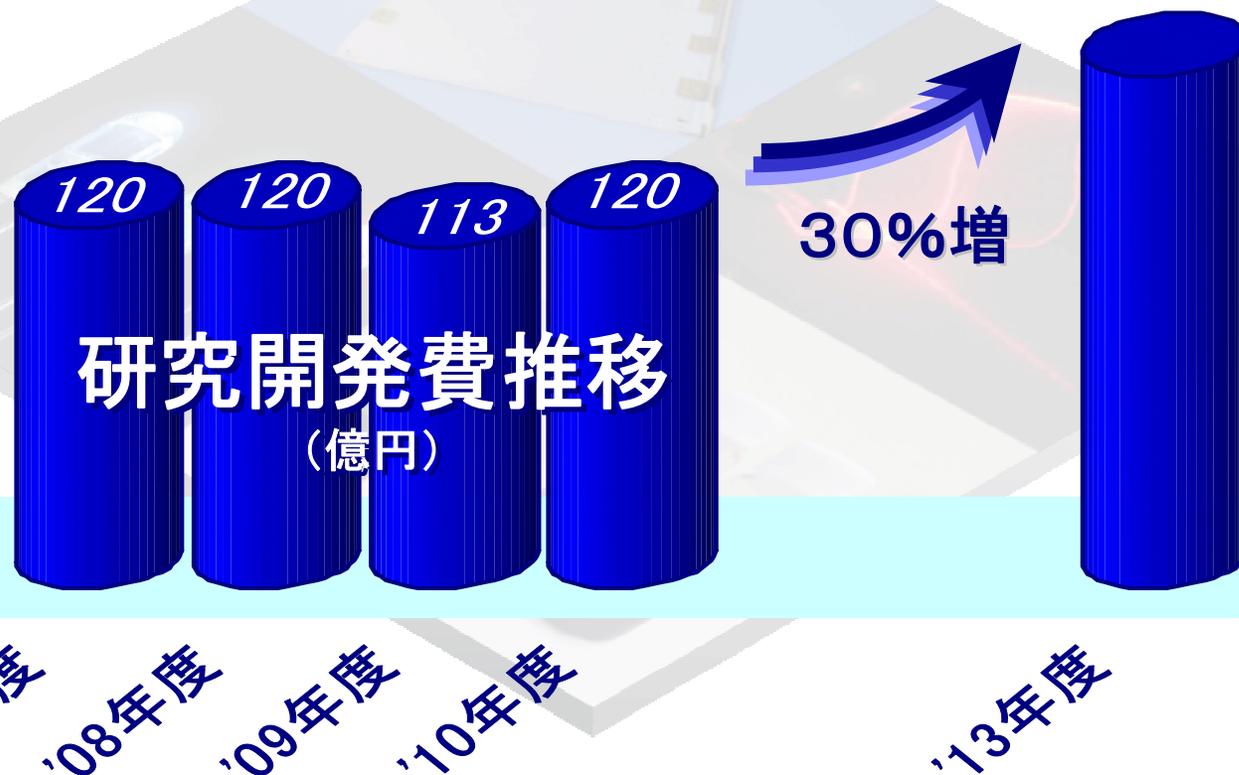
## 3D - I 基本戦略

- ① 新規事業の創出  
電子・情報産業分野、表示デバイス分野
- ② コア事業の更なる強化
- ③ コスト競争力の強化
- ④ グローバルでの事業展開の拡大・強化
- ⑤ ビジネスパートナーとの連携強化
- ⑥ 戦略的M&A
- ⑦ 基盤の強化
  - ・ 生産革新・プロセス革新・業務革新による  
更なる生産性向上、環境負荷低減
  - ・ グループ総合力、グループを横断した連携



# 研究開発

**R&D体制強化**  
(新事業創出に重点を置いて傾斜配分)

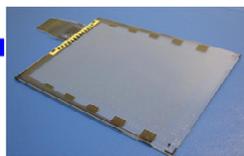


# The Best Solution

## 素材から機能材料・機能部材へ

### 表示デバイスの技術革新への対応

High Performance Films



機能部材

機能材料

モジュール

LCD

BLU

偏光板



LED

TACフィルム

High Performance Chemicals

LED封止材

エポキシ樹脂



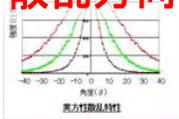
光の干渉を防ぐ



ANRフィルム

異方性拡散フィルム

光の散乱方向を制御



TAC



無水酢酸

酢酸

過酢酸

原料・素材

※ 表示デバイスにおけるイメージ

# 新規事業創出(ターゲット領域)

独自に培ってきた技術をベースに  
求められる機能をカタチに変える

## エネルギー

Lib用部材

太陽電池部材

## 環境

C3バイオマスツリー

エタノール  
バイオマスツリー

水軟水化  
モジュール

## メディカル・ヘルスケア

医療用  
機能性部材

化粧品・トイレタリー  
機能性部材

医薬向け分離精製部材

検査・診断部材

アンダーフィル材料

パワー半導体封止材

OLED封止材

耐熱レンズ材料

FPD部材

導電ナノ材料

LED封止材

タッチパネル用フィルム

プリンタブルエレクトロニクス材料

## エレクトロニクス

有機合成

高分子

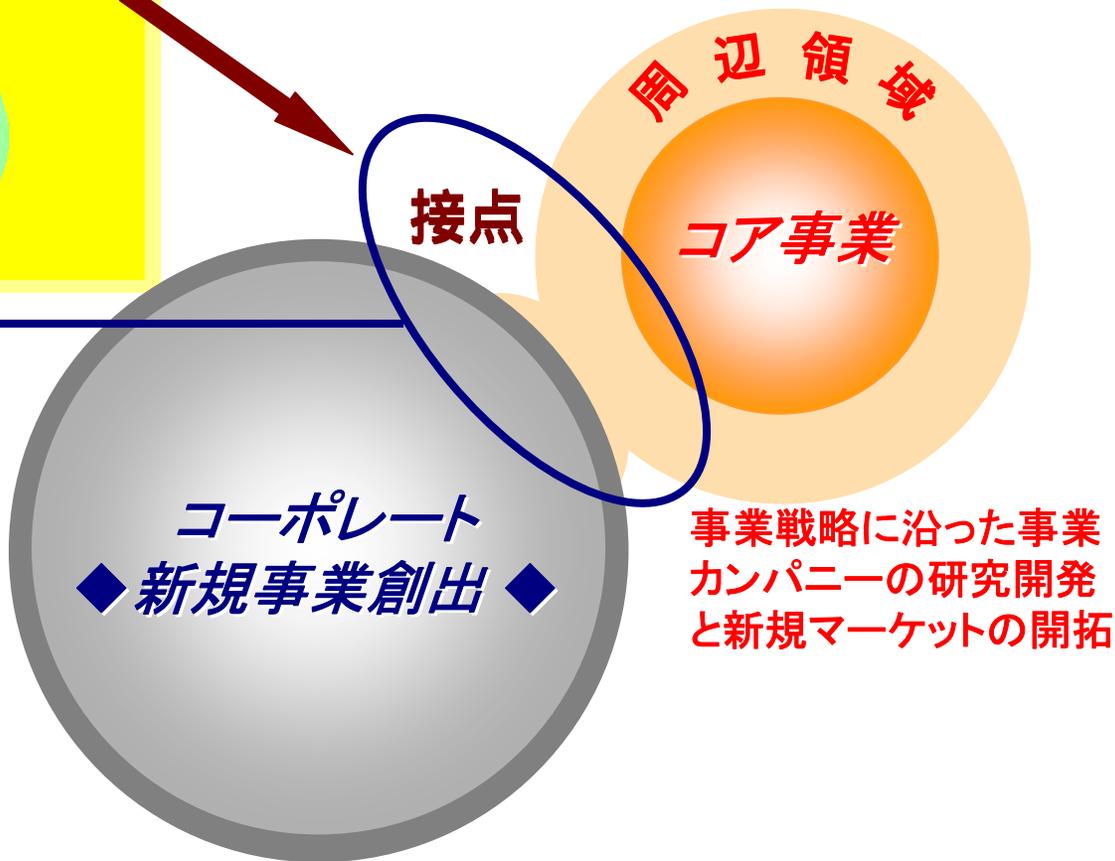
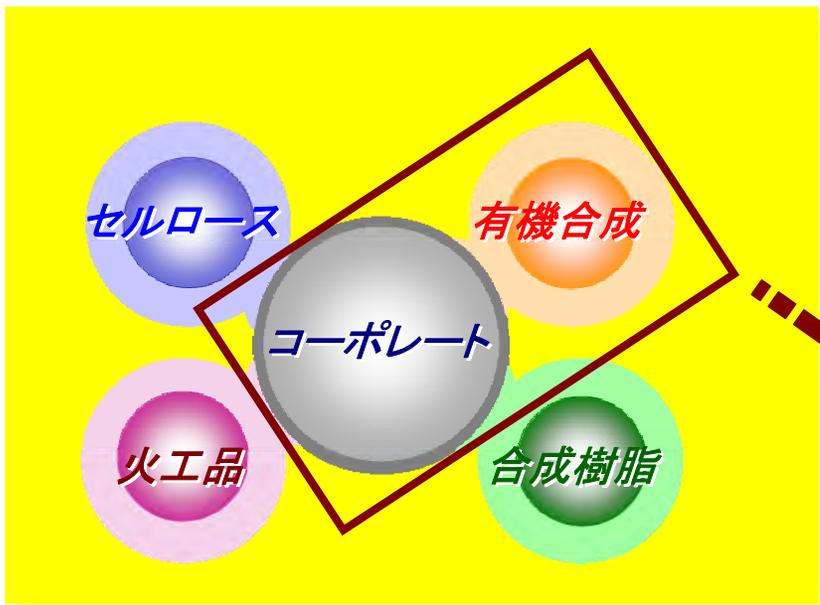
火薬工学

セルロース

2013

2015

# コア事業周辺領域への アプローチ



◆ コア事業の持つ市場アクセス力を利用して、潜在ニーズやトレンド、革新技術のシーズを発掘

◆ 「提案 ⇄ お客様の評価」のサイクルを重ね、真のニーズをカタチにする

事業戦略に沿った事業カンパニーの研究開発と新規マーケットの開拓

# 新規事業の創出

## エレクトロニクス分野に先行して集中

### 機能化学品Project



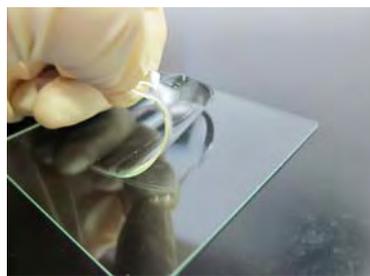
インクジェット対応銀ナノインク



液状封止材



光学レンズ材料

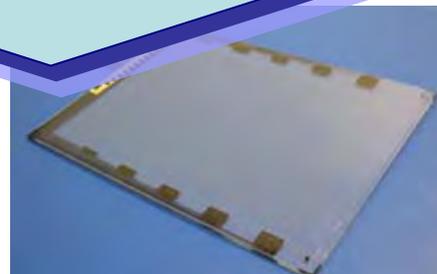


透明層間フィリング材料

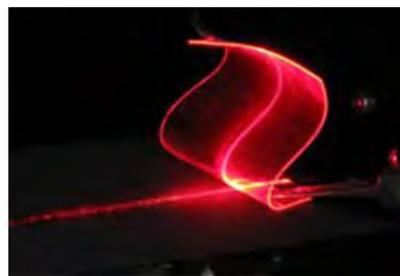
### 機能フィルムProject



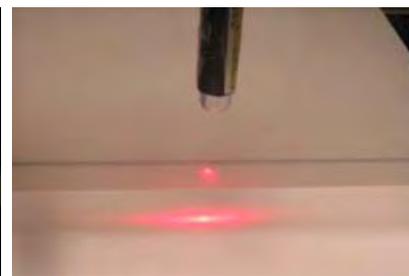
ハイバリアフィルム



アンチニュートンリングフィルム



透明エラストマーフィルム



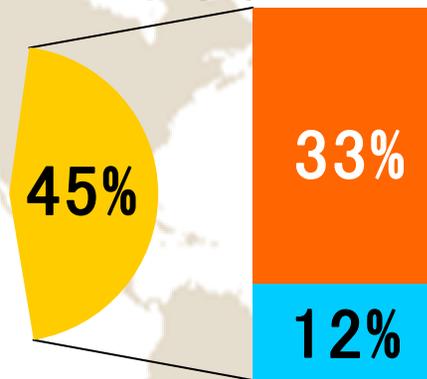
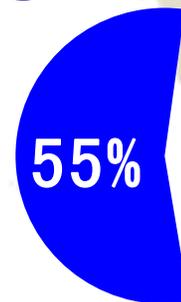
異方性散乱フィルム

# グローバル展開

海外売上高比率 45%を超える

中国、インドを中心とした  
アジアが牽引

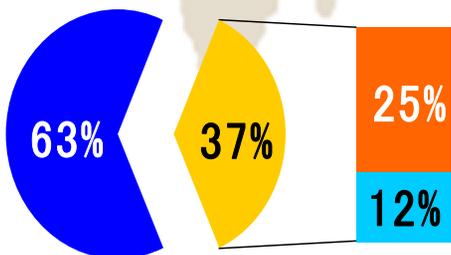
2013年度



4200億円

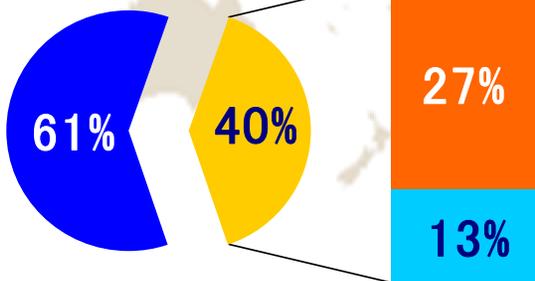


2009年度



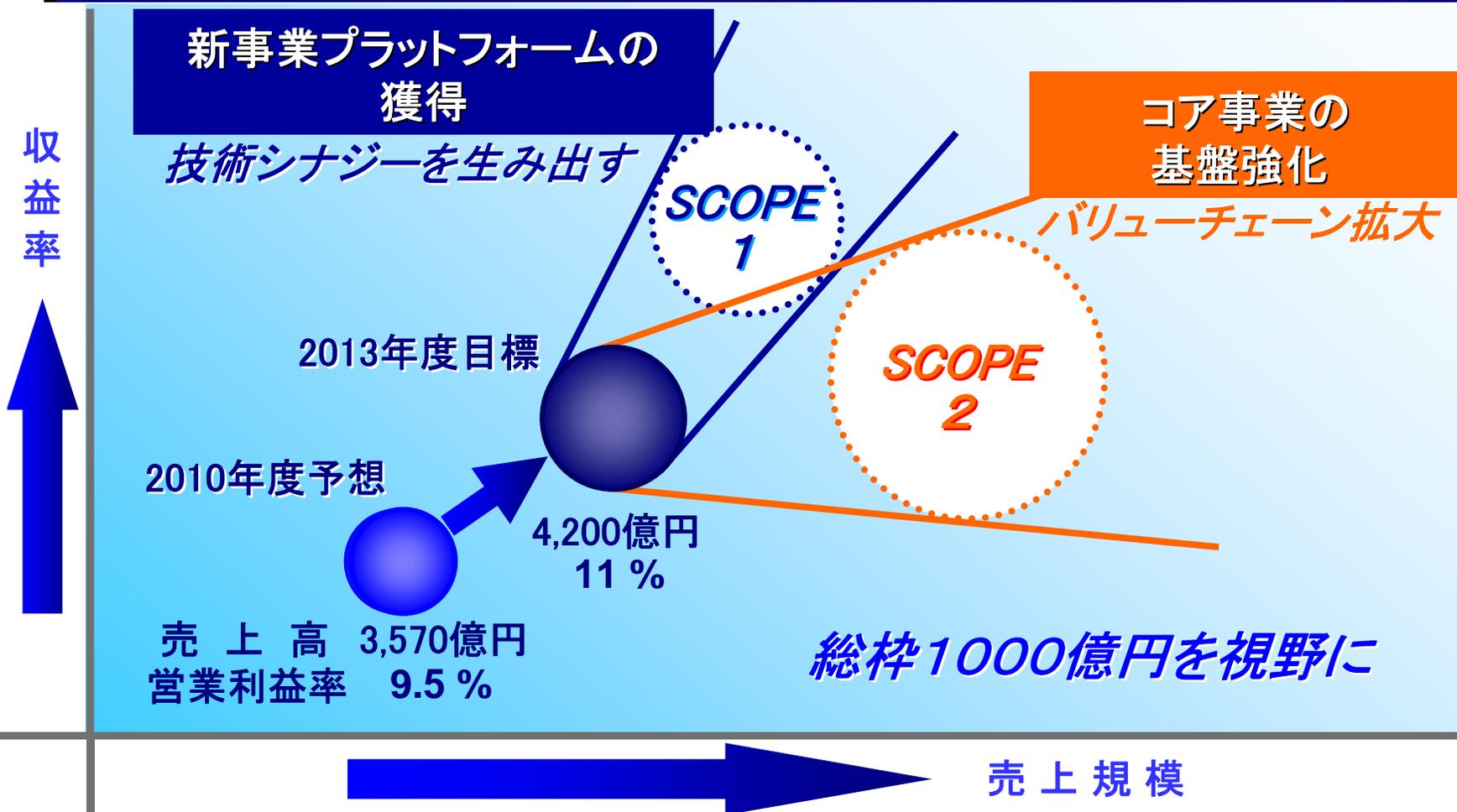
3202億円

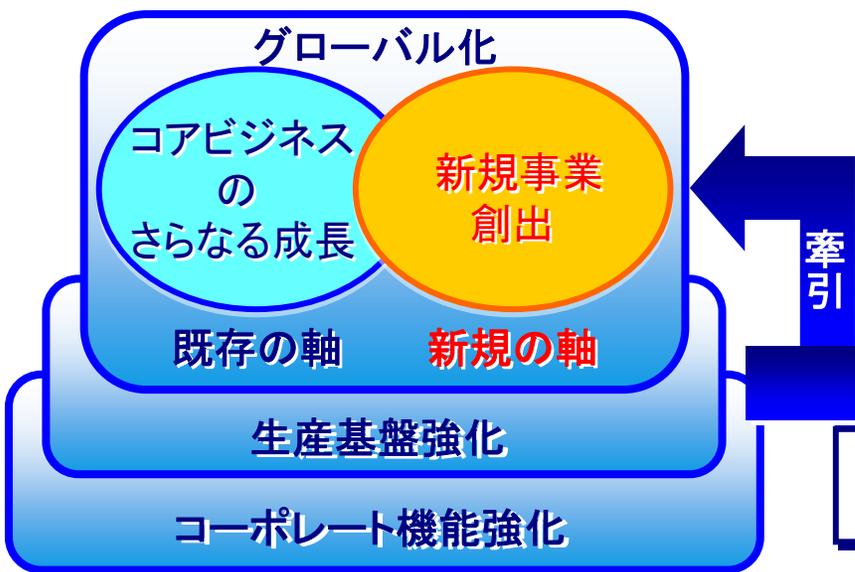
2010年度



3570億円

# 戦略的M&A



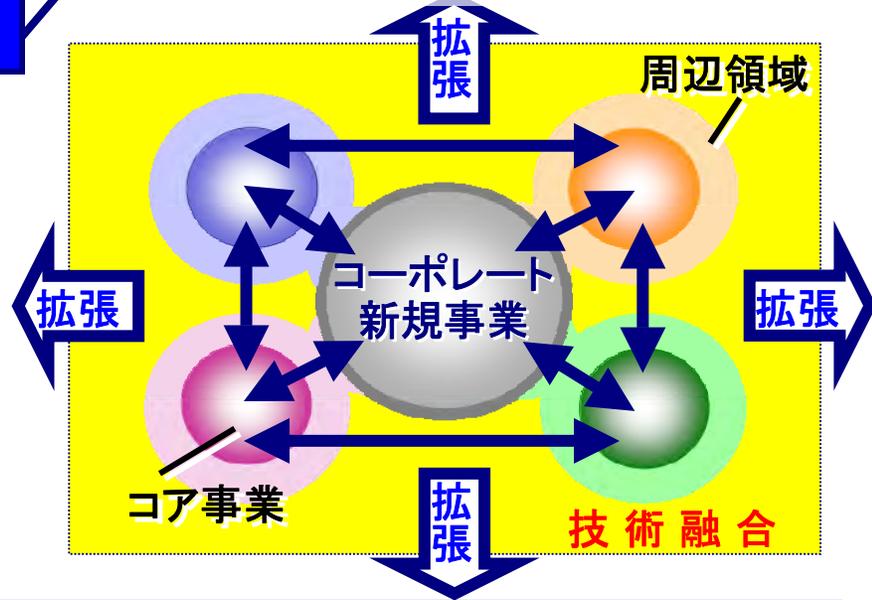


# 生産基盤強化の基本的な考え方

自社の持つ技術・ノウハウをマーケットにつなげるツール  
(生産の領域だけが対象ではない)

## ダイセル式生産革新

★ 縦糸と横糸を織るツール(イメージ)



### モノづくりの基本を自らに問うアクション

ミエル化言語の統一 } 技術・ノウハウを顕在化 (発見・再認識)

- ◆ 研究開発から工業化へのスピードアップを図る
- ◆ 既存の技術を拡張させる
- ◆ 技術間を相互につなぐ
- ◆ 技術のチェーンを伸ばす
- ◆ 技術とマーケットの距離を短縮させる

# モノづくり基盤強化

Best Solution実現のため、モノづくりの拠点を一層強化



加工型



組立型



プロセス型

生産革新

プロセス革新

業務革新

◆ 省エネルギー目標

原単位 年平均1%以上低減

省エネ

◆ コストダウン目標

2009年度比60億円

コストダウン

人づくり

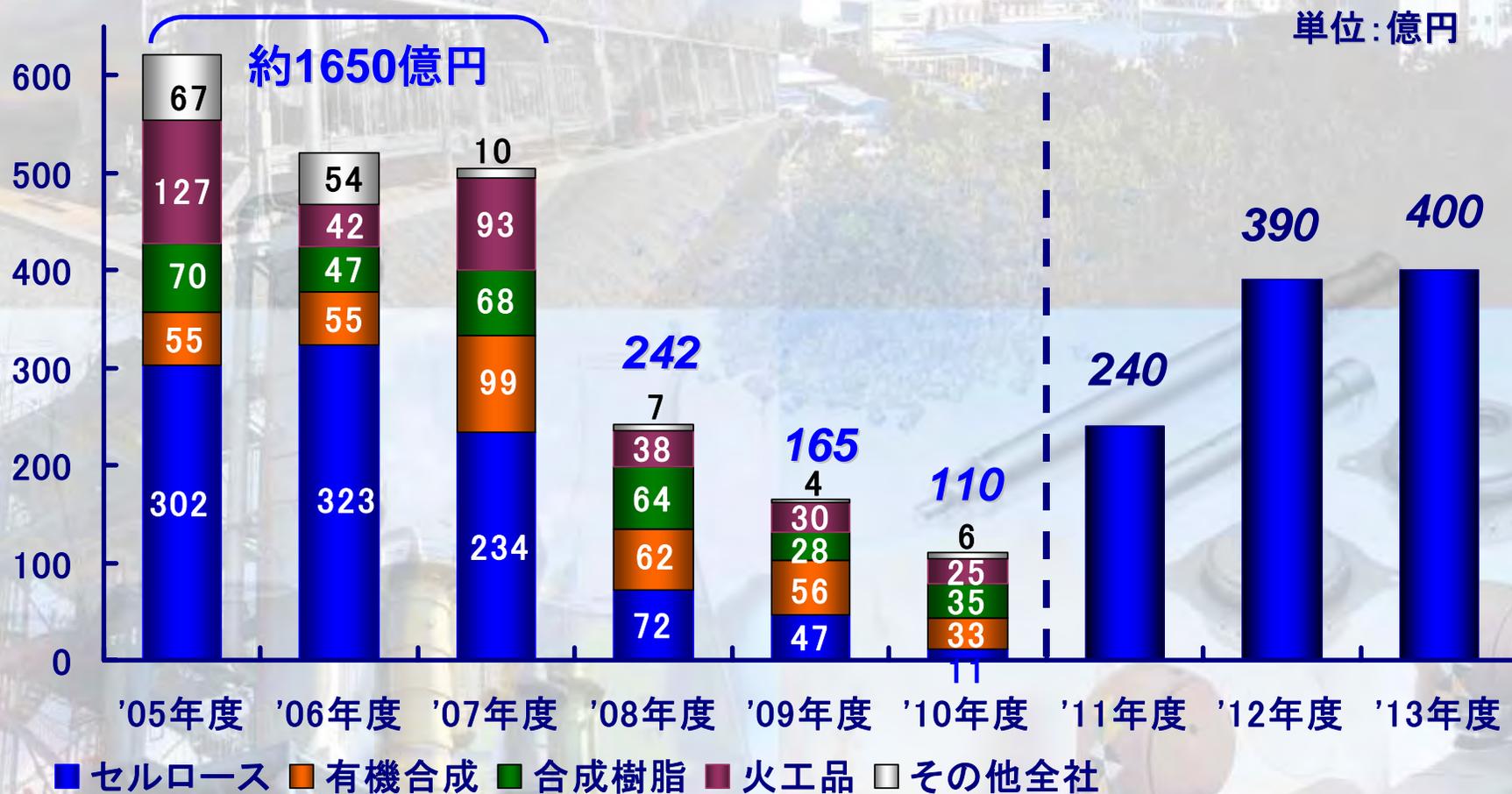
# 連結業績目標

単位:億円

	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想	2011年度 計画	2012年度 計画	2013年度 計画
売上高	4,170	3,780	3,202	3,570	3,750	3,900	4,200
営業利益	322	106	209	340	360	400	450
経常利益	279	82	200	320	350	400	450
純利益	137	13	111	175	180	210	230

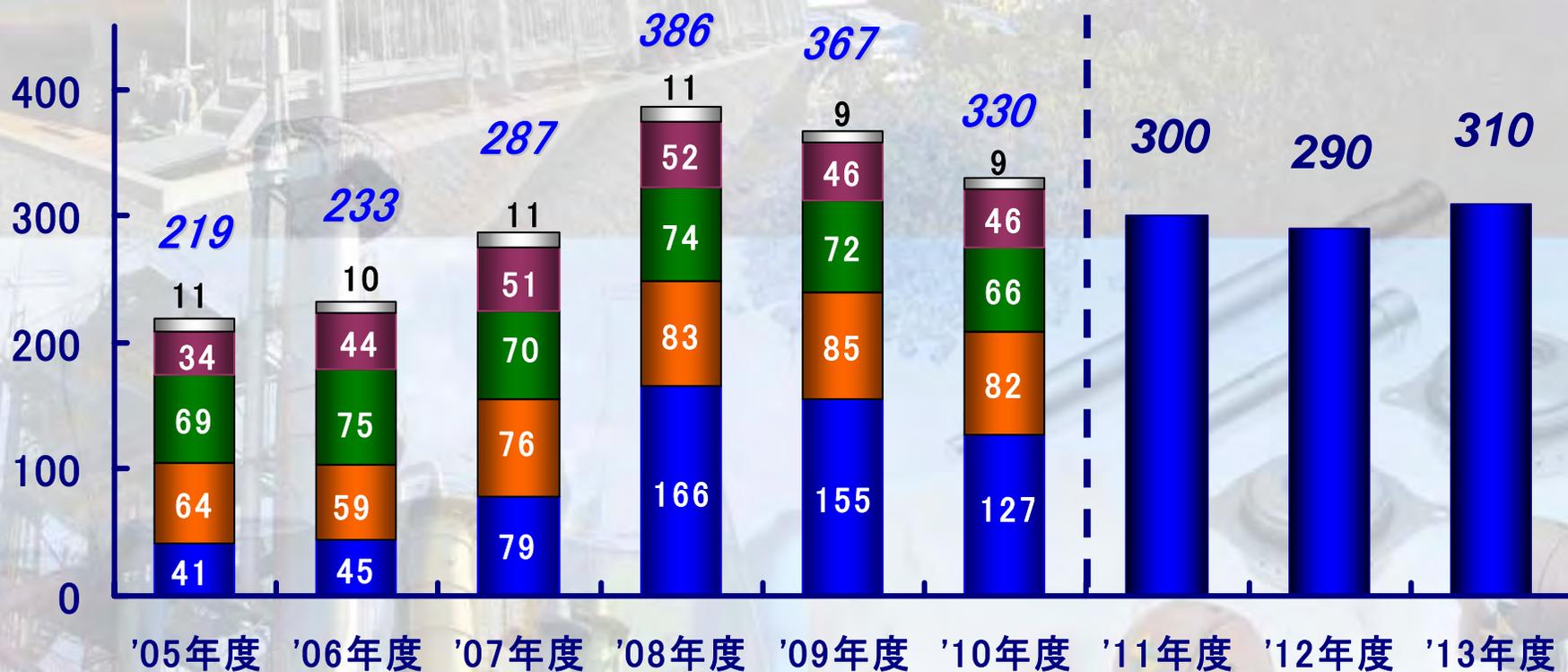


# 設備投資計画



# 減価償却

単位：億円



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

# キャッシュフロー

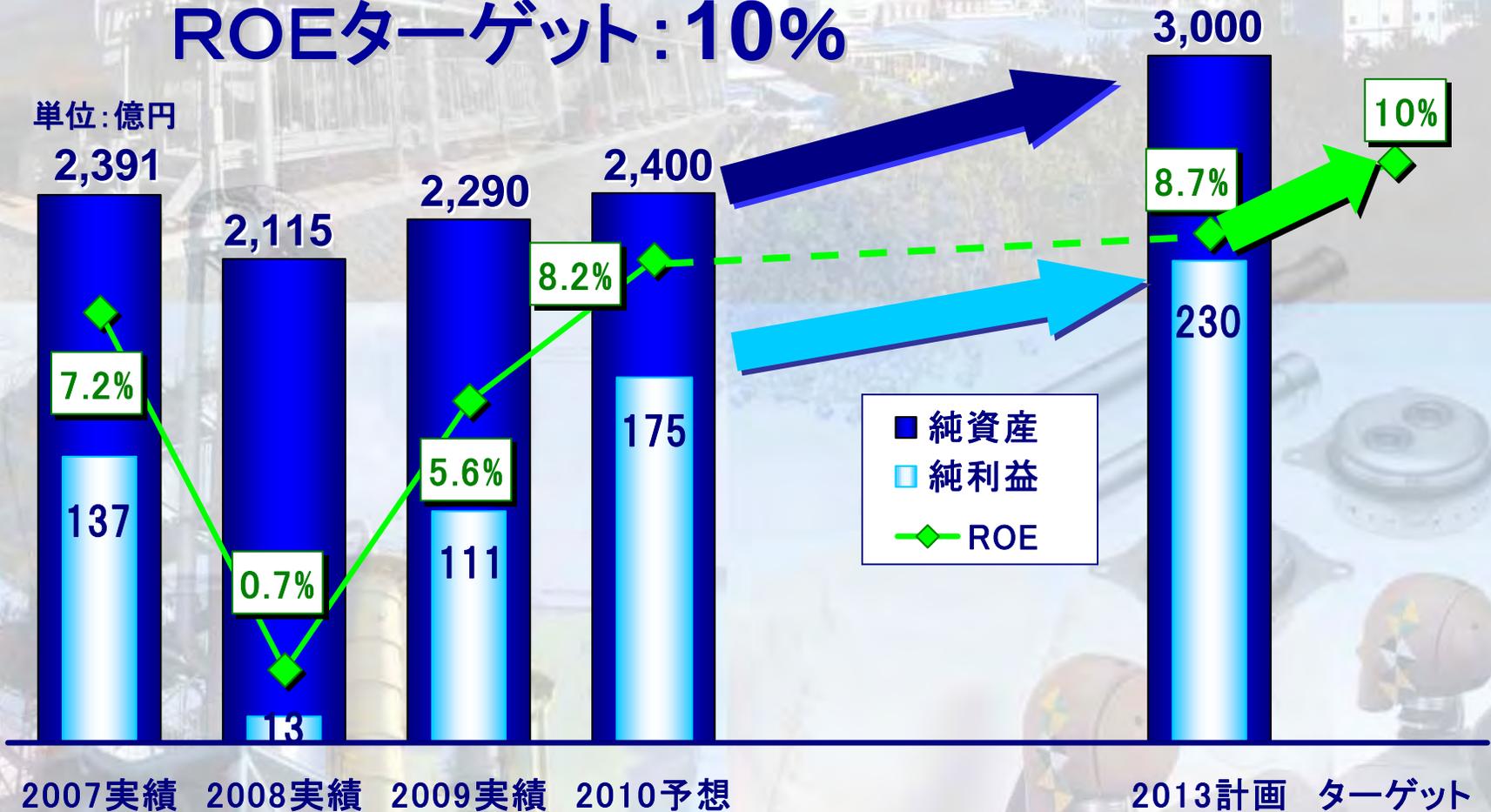
単位：億円

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
	実績	予想	計画	計画	計画
営業活動によるC/F (A) (減価償却)	664 (367)	580 (330)	480 (300)	550 (290)	530 (310)
投資活動によるC/F (B) (設備投資)	△165 (△165)	△140 (△110)	△230 (△240)	△370 (△390)	△520 (△400)
フリー・C/F (A) + (B)	499	440	250	180	10

# 重視する経営指標

## ROEターゲット: 10%

単位: 億円





# 株主還元

## ◆ 基本方針 ◆

- ・ 連結業績を考慮した安定的かつ継続的な株主還元
- ・ より強固な収益基盤を確立するための内部留保

これらを総合的・長期的に勘案したバランスのとれた利益配分をめざしています。

自己株式取得につきましても、配当を補完する株主還元策として機動的に実施してまいります。

## ◆ 株主還元性向※ ◆

目標：30%

※ 株主還元性向 = (配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益

# セグメント別売上高

単位:億円

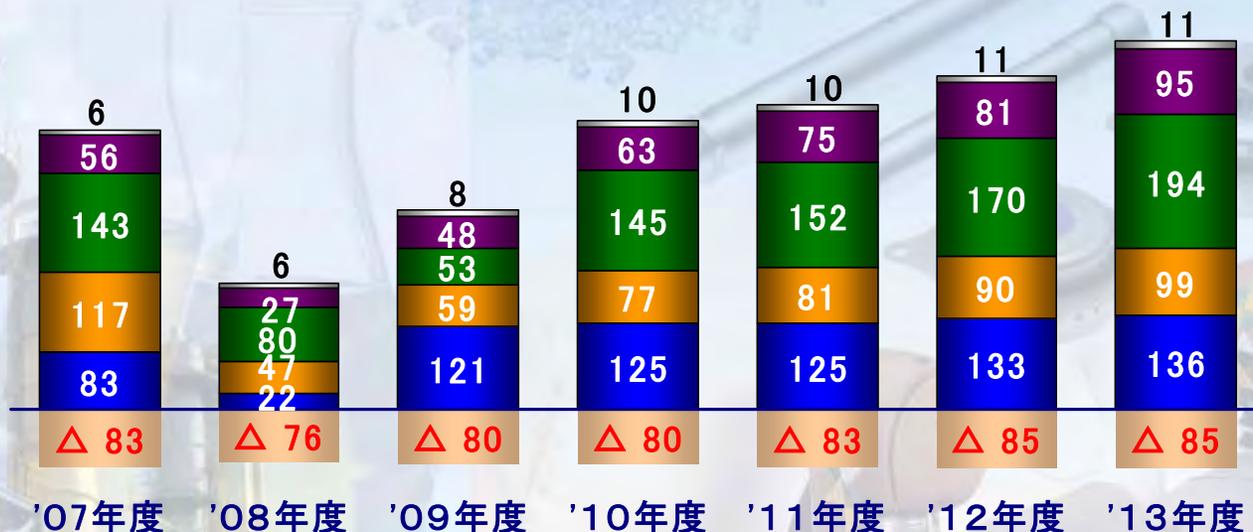
	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想	2011年度 計画	2012年度 計画	2013年度 計画
セルロース	725	724	742	770	755	760	810
有機合成	1,012	911	769	820	885	912	963
合成樹脂	1,713	1,481	1,116	1,375	1,465	1,540	1,639
火工品	654	600	513	540	575	611	698
その他	66	64	62	65	70	77	90



# セグメント別営業利益

単位:億円

	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想	2011年度 計画	2012年度 計画	2013年度 計画
セルロース	83	22	121	125	125	133	136
有機合成	117	47	59	77	81	90	99
合成樹脂	143	80	53	145	152	170	194
火工品	56	27	48	63	75	81	95
その他	6	6	8	10	10	11	11
全社	△83	△76	△80	△80	△83	△85	△85





# セルロース セグメント

## 事業環境

- フラットパネルディスプレイ(FPD)市場の拡大
- FPD部材価格の低下
- フィルタートウ需要は、世界で+1~2%の増加が続く

## 取り組み

- 光学表示材料周辺のR&D強化により  
TAC関連事業の継続的成長を図る
- アセテート・トウの設備増強の検討
- 原料ソースの多様化
- ビジネスパートナーとの連携によるコスト競争力強化
- 第3の柱になり得る新事業の探索・育成



## 有機合成 セグメント

### 事業環境

- アジアでの酢酸需要拡大
- 電子情報産業の拡大
- 海外品との競合激化
- キラル医薬品開発のインド、中国へのシフト

### 取り組み

- アセチルチェーン、エタノールチェーンの強化、拡大
- 安定かつ安価な原料の確保と品質による差別化
- 過酢酸誘導体群増強の検討
- LED封止材をはじめとした機能材料の開発・事業化
- キラル事業：グローバル展開強化、  
ライフサイエンス事業への挑戦



# 化学品事業



## エタノールチェーンの拡充・強化



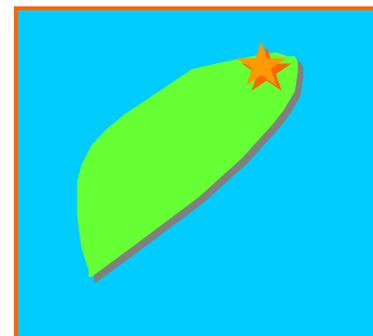
# 機能品事業

## 機能素材品

- ★ 脂環式エポキシ  
世界シェアNO.1を不動のものに
- ★ ラクトン  
世界のリーディングカンパニーへ
- ★ 溶剤／高沸点溶剤  
電子材料需要を取り込み、  
アセチルチェーンの基盤強化に寄与

## 機能材料品

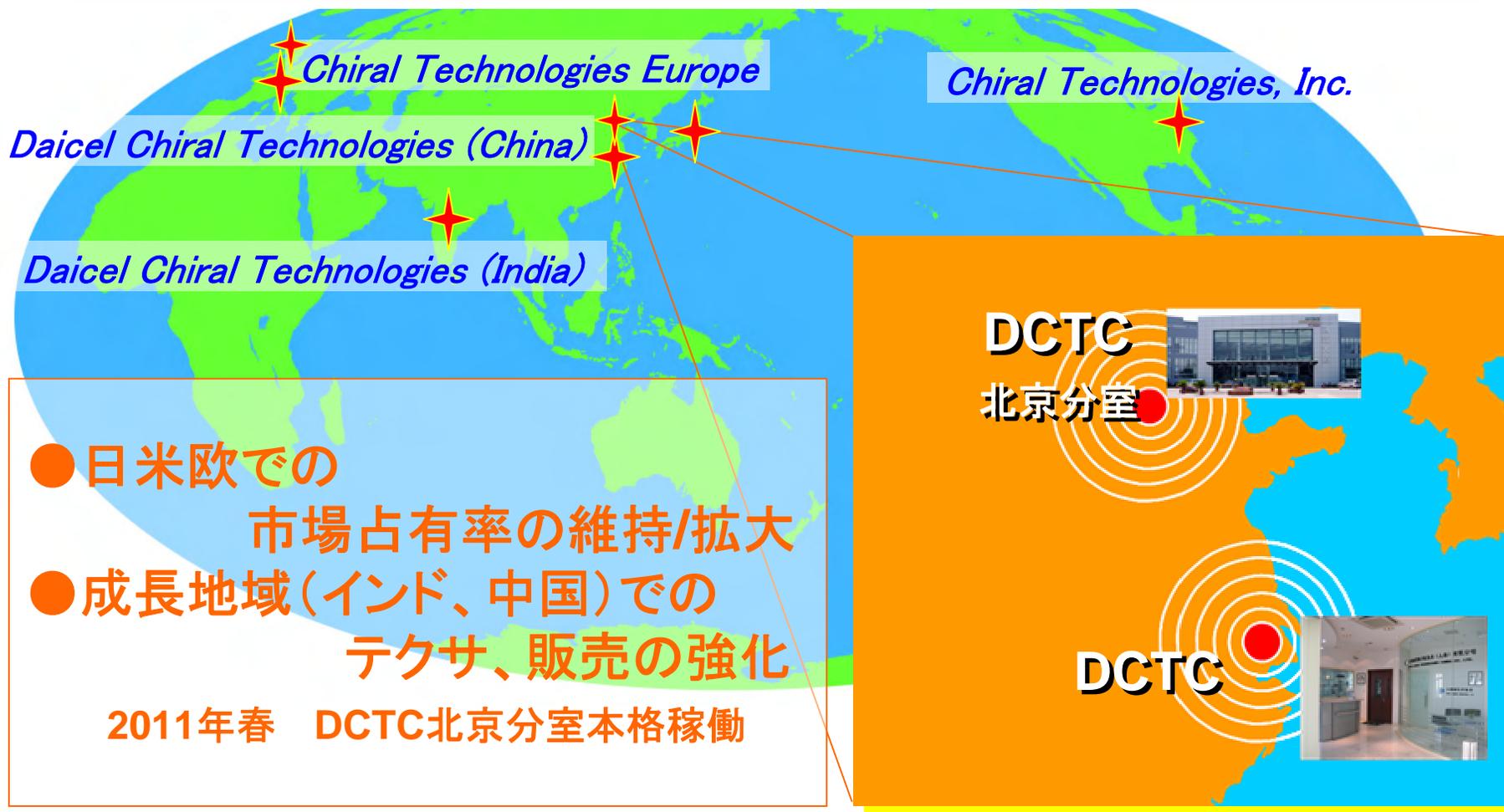
LED・半導体用途の封止材、半導体実装材料、  
リチウムイオン・太陽電池用材料、  
パワー半導体・プリンタブルエレクトロニクス向け材料、  
光学レンズ用高耐熱樹脂など



台湾にテクサ機能を確保



# キラルケミカル事業





# 合成樹脂 セグメント

## 事業環境

- 電子デバイス分野の拡大
- 中国・インドを中心としたアジアの成長
- 現地メーカーとの競合激化
- 社会・産業構造の変化

今後の成長分野は、環境・エネルギー・安全分野

## 取り組み

### ● ポリプラスチック

中国・インド市場への拡大  
成長分野での用途開発・製品開発  
生産拠点・プロセスの最適化

### ● 樹脂コンパウンド事業

海外拠点の増設、強化  
ローカル原料活用の拡大  
高付加価値コンパウンド製品の開発

### ● 樹脂加工事業

アジア市場での展開の可能性検討  
高機能製品(フィルム、成型製品等)の開発



# エンジニアリングプラスチック 樹脂コンパウンド事業

## ポリプラスチック

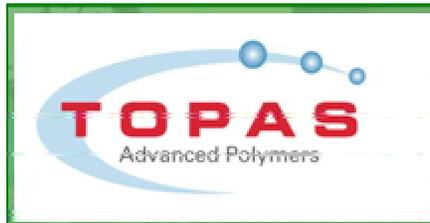
- ・ テクニカルソリューションの推進
- ・ 中国、インドを中心とする新興国でのビジネス拡大
- ・ 成長に見合った能力増強 (LCP、POM)
- ・ 環境、エネルギー、安全分野での拡大

● **Polyplastics**

● **ダイセルポリマー株式会社**

## ダイセルポリマー

- ・ アジア(上海、香港、広州、シンガポール)に  
生・販ネットワークを築き、  
自動車部品向けを中心に販売強化
- ・ タイ現地法人設立の検討 (FSを開始)



# COC事業



● 今中期計画中に黒字化をめざす

● 市場展開

ASIA: 4分野(工業用フィルム、光学フィルム、レンズ・導光板、医療関連)に集中

USA: パッケージ分野に加え、メディカル分野に注力

EU: パッケージ分野、メディカル分野に加え、工業分野に新規開拓



# 火工品 セグメント

## 事業環境

### インフレーター

- 自動車生産台数：'10年63百万台 → '13年80百万台  
(中国、新興国の伸びが大)
- 価格競争が激しさを増す

### 特機

- 防衛目的の変化と防衛予算の実質的減少

## 取り組み

### インフレーター

- 競争力のある新規製品の開発加速、新規分野商品の創出
- 安全・品質・生産・物流の強化
- 新たな事業拠点の調査・検討

### 特機

- R&D強化による事業拡大、民需事業への参入検討



# インフレーター事業



DSSE



DSSC



DSS



DSSA



DSST

- ◆ 2020年グローバル・シェア30%をめざす  
(中国、新興国への拡販)
- ◆ 世界5極体制の強化・充実  
(海外拠点の顧客対応力の強化)
- ◆ グローバルでの安全・品質の維持
- ◆ 海外新事業拠点の調査・検討



# メンブレン事業

## 2020年 売上高100億円規模をめざす

- ◆ 膜モジュール事業を基盤とし、装置・システム事業およびメンテナンス事業を拡大する。
- ◆ 膜モジュールと装置システムのアジア市場での拡販
  - 地下水・工業用水活用システム
  - E-Mizu装置
  - 透析用水精製装置

## ニッチ・トップ・リッチ

ダイセル化学の膜分離技術・水処理技術と  
セントラルフィルター・グループの濾過技術、メンテナンス技術  
両社の強みを生かして事業を拡大する



# 社名変更

ダイセル化学工業株式会社 から

# 株式会社ダイセルへ

- ◆ インフレーターに代表される組み立て加工型事業がコア事業に成長するなど事業の領域が、化学工業の枠に留まらなくなってきている。
- ◆ 化学をベースに、独自の技術・ノウハウで化学工業の枠を超えて発展していく。
- ◆ 全世界でグループ一丸となってベストソリューションの実現に取り組み、真のグローバル企業への飛躍をめざす。

変更日：2011年10月1日（本年6月下旬開催予定の定時株主総会での承認が条件）

# 予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



**ダイセル化学工業株式会社**  
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.